

入院患者用寝具・病衣の賃貸借  
及び  
ベッドメーカーキング業務

仕様書

浜松医科大学

## I. 入院患者用寝具・病衣の賃貸借

入院患者用寝具・病衣（以下「寝具・病衣」という。）の取扱等については、契約書による他は下記により行うものとする。

### 1. 規格及び内容等

寝具１組の内容は別紙１－１～１－３、病衣の規格については別紙２のとおりとする。

### 2. 契約期間

平成３１年４月１日から平成３４年３月３１日までとする。

日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、１２月２９日～１月２日は納品を行わない。

ただし平成３１年度は４月３０日、５月２日、５月４日、１２月３０日は実施し、平成３２年度及び平成３３年度は５月４日、５月６日、１２月３０日は実施すること。

### 3. 予定数量

入院患者用寝具                      ５７６，７４４組

入院患者用病衣                    ４６３，３７７組

### 4. 業務内容

① 病院の必要とする寝具・病衣を常備し、患者の入院の都度、直ちに搬入できるよう準備しておかなければならない。寝具倉庫に保管中の寝具は、湿気・害虫等の被害のないよう必要な措置を講じておくこと。

② 寝具・病衣は、必要に応じて洗濯・消毒するものとし、必要の都度、補修を行うものとする。

③ 寝具・病衣は常時使用する状態での寸法とする。（洗濯により寸法が短くならないこと。）

④ 寝具・病衣の搬入搬出及び連絡等の円滑を期するため、常時連絡員を置くものとする。

1) 患者が入院したときは、病院の指示に基づいて数量等を点検確認のうえ、速やかに指定された場所に寝具・病衣を搬入し病院職員の立会いを受け引き渡す。

病衣の配布数は各病棟看護師長の指示に従い、病衣の配布は患者ベッドの所まで行うものとする。

2) 患者が退院するときは、病院の指示に基づいて速やかに指定された場所にて、病院職員の立会いを受け、寝具・病衣の数量等を点検確認して引き取る。

⑤ 設備数及び各病棟リネン庫予備分については、次のとおりとする。

1) 寝具の設備数は定床の１２０％以上、病衣の設備数は９９０枚以上を用意するものとし、

各病棟リネン庫には、予備分を常置しておくものとする。

2) 寝具・病衣の予備分については常に数量及び汚損等について点検を行い、緊急の際に支障を生じさせないものとする。

3) 病棟汚物寝具置場に使用済み寝具等がたまらないよう、適切に回収を行うものとする。

## 5. その他

① 乙は甲の指定した設備を用いて業務を行うものとし、これらの施設の使用については、常に良心的な保全に十分努めなければならない。

② 乙は本契約にかかる業務等に際して、病院職員の職務を妨げないものとする。

③ 乙は、作業員の健康管理に十分留意し、発注者は必要に応じて、その状況を求めることができるものとする。

④ 乙は、作業員に常に清潔で衛生的な制服を着用させ、作業員の氏名及び請負業者であることを表示する名札を着用させるものとする。

⑤ 乙は、契約締結後7日以内に作業員名簿（氏名、年齢、性別）を病院経営支援課に提出すること。

⑥ 作業員名簿には作業責任者（連絡員と兼てもよい）を明示し、作業員の移動があった場合は速やかに届け出るものとする。

⑦ 本仕様書に記載のない事項について疑義を生じたときは、その都度病院調達係と協議の上、その指示を受けること。

⑧ 作業員は、4種ウイルス（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎）抗体価の測定を行い、抗体価陰性者へのワクチン接種を行った者を選定し感染対策に努める。

## 入院患者用寝具の洗濯及び補修等

品名	回数	洗濯補修等の基準	摘要
マットレスパット・枕・シンサレートカバー・掛布団	1年に1回	洗濯・補修	
シーツ・包布・枕カバー	1週間に1回	洗濯	
小児②用シーツ・タオル・バスタオル	毎日	洗濯	

## 入院患者用寝具交換の仕様

品 名	数量	交 換 回 数	摘 要
包布	2	1 週間に 1 回	夏期は 1 枚とすることがある。  夏期は使用しないことがある。
シーツ	1	〃	
枕カバー	1	〃	
掛布団	1	1 年に 1 回	
マットレスパッド	1	〃	
シンサレートカバー	1	〃	
枕	1	〃	
		以上その他患者入院 時及び退院時	

(夏期：6 月～9 月)

## 病衣の規格

品名	寸 法	形 状	材 質
病        衣	大人用（パジャマ式） L L	パジャマ型上衣重ね合わせ二ヶ所紐留下衣	木綿 45% テトロン55%
	L	ズボン //	//
	M	//	//
	S	//	//
	S S	//	//
	大人用（ガウン式） L L	ガウン型前重ね合わせ二ヶ所紐留	木綿 70% テトロン30%
	L	//	//
	M	//	//
	S	//	//
	小児①用 13 ～15才（2S）	ガウン型前重ね合わせ二ヶ所紐留	木綿 70% テトロン30%
	8 ～12才（4S）	//	//
	5 ～7 才（5S）	//	//
	2 ～4 才（6S）	//	//

## 病衣の洗濯、配布及び補修等

品名	洗 濯 及 び 配 布 回 数	補修	摘 要
病衣	1 週間に付き 2 回 夏期については 1 週間に付き 3 回 （病衣交換予定表による） その他患者入院時及び必要な都度	必要な都度	大人用・小児①用

\* 患者ベッドのところで配布する。

（夏期：6 月～9 月）

入院患者用病衣交換予定表

(4月1日～5月31日、10月1日～3月31日 冬季)

		月	火	水	木	金	備考
2階	西		△			△	
	東			△		△	
3階	西		△			△	
	東		△			△	
4階	西	△			△		
	東	△			△		
5階	西		△			△	
	東			△		△	
6階	西		△			△	
	東	△			△		
7階	西	△			△		
	東	△			△		
8階	西			△		△	
	東			△		△	
集中 治療 部							随時

入院患者用病衣交換 △

入院患者用病衣交換予定表

(6月1日～9月30日 夏季)

		月	火	水	木	金	備考
2階	西		△		△	△	
	東	△		△		△	
3階	西	△		△		△	
	東	△		△		△	
4階	西		△		△	△	
	東		△		△	△	
5階	西		△		△	△	
	東	△		△		△	
6階	西		△		△	△	
	東		△		△	△	
7階	西	△		△		△	
	東	△		△		△	
8階	西	△		△		△	
	東	△		△		△	
集中 治療 部							随時

入院患者用病衣交換 △



実在病床数内訳書

実在病床数は下表のとおり。

使用場所	病床数	使用場所	病床数
1 階集中治療部	1 2 床		
西 2 階病棟	4 7 床	東 2 階病棟	2 8 床
西 3 階病棟	4 7 床	東 3 階病棟	4 7 床
西 4 階病棟	4 3 床	東 4 階病棟	3 2 床
西 5 階病棟	4 8 床	東 5 階病棟	4 8 床
西 6 階病棟	4 8 床	東 6 階病棟	4 8 床
西 7 階病床	4 7 床	東 7 階病床	4 7 床
西 8 階病床	3 7 床	東 8 階病棟	3 4 床
		合 計	6 1 3 床

## Ⅱ. ベッドメイキング業務

ベッドメイキング業務の取扱等については、契約書による他は下記により行うものとする。

### 1. 請負期間

平成31年4月1日から平成34年3月31日までとする。

日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日～1月2日は実施しない。

ただし平成31年度は4月30日、5月2日、5月4日、12月30日は実施し、平成32年度及び平成33年度は5月4日、5月6日、12月30日は実施すること。

### 2. 予定数量

定 期                    55,044床

定期以外                50,979床

### 3. 業務内容

① 請負者は、寝具交換予定表（別紙3）に基づき定期ベッドメイキング業務を行うものとする。

② ベッドメイキング実施にあたり、原則として全病棟の定期以外のベッドメイキング（入院患者及び手術患者分等）実施後に、定期ベッドメイキング（入院患者分）を行うものとする。

③ 請負者は、各病棟の看護師長又は代行者（以下「責任看護師」という。）による寝具作成撤去伝票（別紙4）に基づき、責任看護師が離床を確認した後ベッドメイキング業務を行うものとする。

なお、隔離感染患者及び離床できない患者のベッドは、ベッドメイキング業務から、除くものとする。

④ 請負者は、寝具作成撤去予定表を当日作業開始までに、各病棟の責任看護師から受領するものとする。

⑤ ベッドメイキング業務は、ベッドメイキング実施方法（別紙5）に基づき、次の品目について実施するものとする。

敷布団シーツ・掛布団カバー・シンサレートカバー・枕カバー

なお、防水シーツが必要な場合は、責任看護師が別途指示するものとする。

⑥ ベッドメイキング業務は、2人1組で行うものとする。

⑦ 作業時間は、原則として午前8時30分から午後5時00分までとする。

なお、都合により作業日程、場所を変更する場合がある。

また、祝休日のある週の業務予定は、副看護部長（看護部業務担当）と協議するものとする。

（3連休になる場合は最終日の午前中に、空きベッドのみ交換業務を行う）

- ⑧ 緊急入院に備え、枕、シンサレートカバー及び掛布団にカバーを掛けたものを1組とし各病棟毎に3組準備するものとする。
- ⑨ ベッドメイキングは、責任看護師と打合せ後に開始し、終了に当たっては責任看護師に確認を受けること。
- ⑩ 作業員は病棟から臨時のベッドメイキング依頼に応じるため、連絡用のPHSを携帯すること。

## 6. その他

- ① 請負者は、業務従事者（以下「作業員」という。）の中から責任者を定め、業務の指揮監督を行わせ、業務の完全遂行を期すること。
- ② 請負者は、作業員の経歴書（住所・氏名・年齢・性別）を事前に届出（変更があればその都度）するものとする。

また、業務の履行に著しく不相当と認められる作業員は協議のうえ、交代させることができるものとする。
- ③ 請負者は、作業員に一定の作業着・マスク等清潔なものを着用させ、請負者名及び氏名を明示した名札を着用させるものとする。
- ④ 請負者は、作業員の健康管理に十分留意し、発注者は必要に応じて、その状況を求めることができるものとする。
- ⑤ 請負者は、ベッドメイキング業務を円滑に実施するに当たり、必要な人員を配置して行うものとする。
- ⑥ 請負者は、寝具清潔度、吸湿性及び品質等が不相当な場合は、寝具供給業者に返却し、交換要求をするものとする。
- ⑦ 請負者は、ベッドメイキング業務の際、故意又は重大な過失により損害を与えた場合は、速やかにその旨を担当係に報告し、指示を受けるものとする。
- ⑧ 患者のプライバシーには、特に配慮すること。
- ⑨ 患者の私物の取扱は慎重に行い、破損、紛失等に細心の注意を払うこと。
- ⑩ その他本仕様に記載のない事項及び細部については、浜松医科大学病院経営支援課の指示によるものとする。

- ⑪ 作業員は、4種ウイルス（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎）抗体価の測定を行い、抗体価陰性者へのワクチン接種を行った者を選定し感染対策に努める。

寝 具 交 換 予 定 表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2 階	東		○			
	西			○		
3 階	東					○
	西					○
4 階	東				○	
	西				○	
5 階	東		○			
	西			○		
6 階	東		○			
	西				○	
7 階	東	○				
	西	○				
8 階	東			○		
	西			○		

## ベッドメイキング実施方法

ベッドメイキングの目的は、患者を安楽に気持ちよく休ませること及びベッドの清潔さと整頓を保つため、次の方法で実施するものとする。

### A. ベッドメイキング（撤収）方法

品 名	手 順 要 領
1. 敷布団シート	敷布団のシートをはずす。
2. 掛布団カバー	掛布団のカバーをはずす。
3. シンサレートカバー	シンサレートカバーをはずす。
4. 枕カバー	枕のカバーをはずす。

上記作業後、アルコールタオルにてマットレスの清拭を行う。

上記の取りはずした寝具は、直接ランドリーバックの中に入れ、各病棟の所定の場所に置くものとする。

### B. ベッドメイキング（調整）方法

ベッドメイキングに係る下記の寝具については、各病棟で予め各ベッドに1組として準備する。

品 名	手 順
1. 敷布団シート	<p>（1）作業員は敷布団シートをベッドの中央に置き、両側に向合わせに立つ。</p> <p>（2）敷布団シートは、親指を下にして持ち、十分にしわのないようにする。</p> <p>（3）枕元・足元は同じ長さにする。</p> <p>（4）ベッドの中心線とシーツの中心線を正しく合せる。</p>

	<p>(5) 枕元より先にマットレスの下に入れ、横端のシーツを図のようにして、三角の角を作る。(別紙図面参照)</p> <p>(6) 足元のシーツをマットレスの下にしっかりと押し入れる。</p> <p>(7) マットレスの足元の横端のシーツを図のようにして、三角の角を作る。</p> <p>(8) シーツのマットレスから垂れている横の部分を全部マットレスの下に入れる。</p>
2. シンサレートカバー	<p>(1) シンサレートカバーの端をしっかりとつかみ、隙間のないように両端を引っ張る。</p> <p>(2) シンサレートカバーの紐を3か所結ぶ。</p> <p>(3) シンサレートカバーと掛布団をきちんと重ね、ベッドの足元の方に向けて扇子折に折り返して置く。</p>
3. 掛布団カバー	<p>(1) シンサレートカバーに準ずる。</p> <p>(2) リネン類の中央線とベッドの中央線が一致して、整然とした美しさがあるようにする。</p>
4. 枕カバー	<p>(1) 枕の角とカバーの角を合せる。</p> <p>(2) 枕を包み、余った部分をカバーの中側に入れ、枕を包むように折り込み、そして折り込みを下にする。</p> <p>(3) 枕を平らにし、ベッドの枕元にカバーの口が病室の入口と反対側になるように正しく置く。</p>

#### 注意事項

作業を開始する前に移動させたインターホン、ベッド柵、ストッパー、オーバーテーブル、椅子及びその他のベッド周囲のものは、作業終了後、元に戻すこと。